



Dis.cord

Rip@Lip

For Adult only



追っ手 「ハハハッ…天神流頭首八代目と
いっても数には勝てなかったようだな！」

「アヤネ様が自ら相手をする必要も
なかったな…」

霞 「くっ…アヤネ…まだ諦めて
なかったの…？」

追っ手 「くっ…アヤネ様の館に連れて行く前に
所詮はひ弱な女であることを自覚して
もらおうか…」

霞 「い…いや…っ なにを…っ！」

霞 「くっっ…は…離して…っ」

追っ手 「うるせえな…これでも啜えてろッ」

霞 「んぷっ！？ん…んっ」

追っ手 「へっ…ち○ぽ啜えたら大人しくなりやがったぜ…さて女忍者さんのここはどうなってんのかなあ？」

霞 「！んぷっ…はああ…」

追っ手 「ちょっとクリトリス触っただけでそんな声出しちまって…じゃあこれはどうだ！？」

もじゅ

ちゅっ
ちゅっ

「グジュッ グジュッグジュッ！」

霞 「はあああ！指…抜い…あっあ！」

追っ手 「もうこんなに熱くなって吸い付いてるじゃねえか…どう突っ込んでやろうかあ？」

霞 「く…う…何されたって…私は…！」

追っ手 「その気丈さがそそるねえ…ほらお口がお留守だぜ！」

霞 「んっ！んぷっんぷっ…」

追っ手

「今度は俺の番だな
…そらっ！」

霞

「ひあっ！」

追っ手

「なんだあ？いきなり
挿れられるのも
好きなのかよ？おらおらっ」

霞

「ふあ！あっ！あっ！」

追っ手

「くっ…もっと熱いの
欲しいだろ？」

霞

「やあ…や…！」

追っ手

「おま〇こトロトロでもう
イキそうだあ…！出すぞッ！！」

「ビュクッ！ビュクッ！！」

霞

「んんああああっ！！」

ビュクッ

ドクッ
ドクッ

アヤネ 「フフッ…いい格好ね霞」

霞 「あ…アヤネ…
こんなこと止めさせて…っ」

アヤネ 「抜け忍になったお前には
その格好がお似合いなのよ…
男を喜ばせるだけの肉便器の
格好がね！」

ず
ち
や
っ

ず
ち
や
っ

霞 「くっ…んっ…ん…はあん！」

アヤネ 「なあに？乳首いじられただけで
感じちゃった？ やらしいコ…」

男 「アヤネ様…こいつの胸気持ちよすぎて
すぐ出てしまいそうですよ…」

アヤネ 「まだだめよ…お前たちもっと
気持ちいいことしたいでしょう？」

霞 「！っ…や…めてっ」

アヤネ 「ふふ…いい泣き声聞かせてもらうわ…」



霞 「んっ…ふああん…っ」

アヤネ 「どうしたのかしらあ？だいぶ声が
激しくなってきたじゃない…」

霞 「くう…ん…んはああ！」

アヤネ 「お前のココがどうなってるか教
えてあげようか…」

「クパアアツ…」

アヤネ 「あらあら奥までこんなにグジュグジュ
…ひくひくいやらしく動いてるわあ…
もっと奥に突っ込んだらどうなるかしら？」

「グブブブブッ！！」

霞 「！っやああっ！んああああっ！！」

アヤネ 「ふふ…もうイっちゃったのね…
おま〇こビクビクさせてだらしない…
でもまだ休ませてあげないわ…」

男 「へへへ…じゃあ俺はこっちの
穴をもらうぜ…！」

「グブブッ…！！」

霞 「！っあっ！！あああっ！！」

男 「こっちは初めてかあ…？
すげえ締めまりだぜ」

びん

びん

霞 「くううっ！お…お願い抜いてええっ！」

「ぐぽっぐぽっぐぽっ！」

男 「どうだ霞い…お前の肉壁を隔てて
ち○ぽが出入れしてるのがわかるだろお」

霞 「ふあっ！あっあっ…やああ」

男 「このままお前のなかにぶちまけてやる…ッ」

「ドグッドクドクッ」

霞 「！っあ 熱いのが…っ
んはあああっ！！…」

ドク
ドク

ビュッ

くっっ...

ひゅ

ひゅ

「ビュルッ!ビュルッ!」

霞 「っあ...あ...」

アヤネ 「ふふ...もう何回中出しされた
かしら...ボロボロね霞...」

霞 「はあ...はあ...」

アヤネ 「でもこんなんじゃ私の気が
晴れないわ...これからゆっくり調教
して行ってあげる...」

アヤネ 「もうすっかりメス奴隷ねえ…霞
いつものご挨拶はどうしたの？」

霞 「はぁ…っんっ 霞は…いやらしい
肉便器ですので…っ
今日もいっぱい気持ちよくなって
ください…っ」

アヤネ 「アハハッ…お望みどおり
今日もたくさん突いて
おやり、お前たち」

ちゅぽぽ

ちゅぽぽ

霞 「はあん！すごいのお…
奥まズッポリはいってるう…っ」

男 「まだイクんじゃないぞ？こっちが
中で出すまで我慢だ」

霞 「だめえ…我慢で…できないです…っ
イクっ…イっちゃいます…っ」

男 「しょうがねえな…壊れるくらい突いて
やるよ！」

霞 「んっはぁあっ！い…く…うううっ」

兄さん…

ドキ

ドキ

旅立つ前に…
抱いてほしいの…♡

私の胸…こんなに
大きくなったんだよ？

おっぱん

おっぱん

んっ♡

んっ…

兄さんの「んっ」…
すごく熱くなってる…
私の胸気持ちいい？

ひざし……

やだ……兄さん
出すの早いよお

……私も……気持ちよく
なせし……っ

びゅっ
びゅっ

んん

んん

もう「ん」なのに
トロトロなの……

兄さんのだったら
いきなり突っ込まれても
いいよ……♥



あ♥はあっ
すっっっ...

兄さんのが
一番おくて...

当たってる♥
...っ はあん♥

んあ♥

んあっ

ふあっ♥あ



やあ
い...いいのっ
後ろから

激しく突かれる
の...好きいつ



あ♥

ふっふっっっ♥

んんんっ…

なかでまだ
出てるっっっ♡

もっよ…めちやくちせーし
っっっかっっ…っ

ぽっ

ぽっ

熱いのが奥まで
届いてる…っ

すごい…兄さんの
まだ元気…♡

私も…まだ
物足りないの…♡

もう一回だけ…
ね？

■■■ あとがき ■■■

こんにちは、水原優です。この本をお手に取ってください、ありがとうございます。
今回は久しぶりに霞ちゃんを描けて楽しかったです。実に一年ぶりですね・・・時間が経つのはほんとに早いです。そう、ゲームをしてるとあっという間に・・・w
ともあれ今回もちゃんと新刊を出せて良かったです。次のイベント参加予定は2月サンクsgivingなので、正月ポケしないようにしっかり描いていこうと思います。それとサークル「SweetRance」のほうでも合同誌をちまちま描かせてもらっているので、こちらも見ただけいたら幸いです。

では次回イベントを楽しみにしています！
来年も頑張りますので、これからも宜しくお願いします。

Special Thanks

★CG彩色★ 水涼

★デザイン★ mimu

★文字効果★ あすまん

■ 奥付 ■

発行

Rip@Lip

発行日

2008/12/30

印刷

関西美術印刷様

Rip@Lip ホームページ

<http://riplip.sblo.jp/>

Dis.cord

Rip@Lip

For Adult only